

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成25年度 第3回）

開催日及び場所	平成25年11月25日(月) アスト津 4階 研修室A	
出席委員	委員長 林 拙郎 副委員長 福島 礼子 委員 石黒 覚 委員 岩田 広子 委員 長谷部 拓哉 委員5名中5名出席	
審議対象期間	平成25年7月1日から平成25年9月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 平成25年度 第3回定例会 (平成25年11月25日 14:00~16:00)	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 熊野川他水位観測所設置工事〔河川・砂防課〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加対象者数は。 ・入札参加者が1者であった理由はなにか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・34者である。 ・今回の工事には、水位観測システムの機能増設という特殊な業務が含まれており、現システムの把握が必要となるため、入札参加を見合わせた業者が多かったことが考えられる。
工事名 くわな特別支援学校普通特別教室棟ほか建築工事〔営繕課〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・低入札調査において、下請業者へのしわよせがないかはどのように確認しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の設計額と落札候補者の見積額を比較し、特に低い見積をしている項目について、事前に提出された低入札調査資料である下請業者の見積書が落札候補者の見積内訳書に適正に計上されているかを確認している。
工事名 道路標示塗装工事(抹消)〔警察本部会計課〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・路面標示施工技能士の資格を有するという入札参加の技術者要件を満たす業者はどのくらいあるのか。 ・各社の入札金額が同じような高い金額であるが、道路標示の入札はこういう傾向なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・路面標示の作業時には路面標示施工技能士の資格者の配置が必要となるが、路面標示工事の過去の入札参加状況から少なくとも20者前後はある。 ・今回の工事は、特殊工法による抹消工事であったことから各社の入札金額が高くなったと思われる。
工事名 木曾岬2期地区地域用水環境整備事業水質浄化対策・景観調査設計その2業務委託〔桑名農政事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
工事名 主要地方道伊勢南島線(新野見坂トンネル外)道路交通安全対策二種(太陽光発電設備設置)工事〔伊勢建設事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率100%となった理由はなにか。 ・太陽光発電設備が特殊なものであれば、今後の維持管理は今回の契約した業者との随意契約になっていくのではないか。 ・プロポーザルの評価値はどのように算定されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県が積算した設計書と、提案を採用した業者から提出された見積書を比較検討した上で低い方を予定価格の算定に採用している。今回、業者の見積額が県が積算した設計額よりも低く、予定価格の算出に採用されたため100%となった。 ・今回の案件は、特殊なシステムを導入しているというものではなく、また太陽光パネルも汎用性の高いものが出回ってきていることから、今回契約した業者しか今後維持管理ができないものではないと考えている。 ・評価項目ごとに優れている100点、概ね優れている80点、良好60点、概ね良好40点、普通20点の5段階評価で、5名の審査員がそれぞれ評価し、その点数を平均している。

意見・質問	回答
繰越事案の審議について	
工事名 道整備交付金林道野又越線第3工区開設工事〔治山林道課〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害で崩落したので、仕方がないと思うが、何か雨が降ったとか理由があるのか。 ・それは異常な雨だったのか。 ・崩落はある程度予測できたのか。 ・現場の右にも林道がついているが使えないのか ・今回、予想していなかった崩落が起こり、今後の工事にもそのような可能性は起こりうると思うが、工事の施工方法が変わるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・崩れたのは5月31日。 5月28日から30日にかけて雨が降っていた。 ・林道災害復旧事業が受けられる基準は24時間雨量で80mm以上。今回の雨は最大24時間雨量で56mm。国の基準は満たしていないが、崩れた原因の一因であるとする。 ・まったく予測できなかった。 崩れる前日にも、この道を通り現場に行っているが、まったく前兆はなかった。 ・この林道に近接して国の治山工事を行っており、この工事が終わらない限り現場に入れない。 ・山を切り開いて工事を進めるなか、よく似た土質や岩質が出てきた場合には慎重な検討を要する。思ったより、岩質が悪ければ、何らかの手立てが必要である。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・次回、平成25年度第4回入札等監視委員会の開催日は、平成26年2月26日(水)の予定とする。 	